

おき書。今、句帳にぞ参加
いれど有難うございます。

句の美しいものをおすそわけ、
結構嬉しいものです。

皆で大いに十の年におすそわけ
してやりましよう。そしてそれを
おおいに楽しみませう。

且、軽くお祈りいたします。

うまいもん好きの抱え

Ten・tem 2024 in 横浜赤レンガ倉庫

1/8

～ 書・今・旬 ～

10/11 要項 石井抱旦

1. 日程 2024年4月23日(火)～29日(月) 11:00～18:00
23日(火) 13:00～、29日(月)～17:00
2. 場所 横浜赤レンガ倉庫 1号館 2F (別紙参照)
3. 主催 Ten・tem プロジェクト (14回展とつら)、出品者が主催者です。
4. 後援 毎日新聞社
5. 出品者 今旬の作家50名 (別紙参照)
6. 代表 石井抱旦 (事務局)
7. 出品料 使用壁面1㎡1万円、36,000円 or 40,000円。希望による。(別紙^{4/8})
8. 企画
 - ・カタログ(フルカラー、A4版400冊)1冊、目録 3000枚
 - ・フライヤーはがき 7000枚、フライヤー-A4 7000枚
 - ・シンポジウム (今の書、こゝからの書(仮)) 館内
 - ・ギャラリートーク (毎日、インタビュー形式)
 - ・ワークショップ (毎日、講師希望者をのりず)
 - ・推薦文 (評論家 栗本高行氏)
8. デザイン等 坂巻裕一氏 (デザイナー・出品者)
カタログ・フライヤー・ポスター、目録等の作製、PCによる連絡等。
9. 展覧会スタイル 1回きりの展覧会とし、終了後解散します。
10. 日程
 - 6月 出品者決定
 - 11月10日 要項送付
 - 11月25日(土) 壁面希望(A or B)とフライヤー希望枚数のアンケート締切。
 - 11月30日(木) 使用壁面決定、各自に通知。
 - 12月20日(水) 出品料振込み締切。
 - 2024年1月30日(土)、カタログ掲載(作品写真)・出品票 締切。
 - 2月1日(木) フライヤー(A4、はがき)完成、出品者に送付。
 - 2月10日(土) 各メディア・美術館・ギャラリー・書店・大学等へ発送。
 - 3月10日(日) カatalog・目録完成、各出品者、メディアへ送付。
 - 4月23日(火) 展覧会搬入・展示・開催。

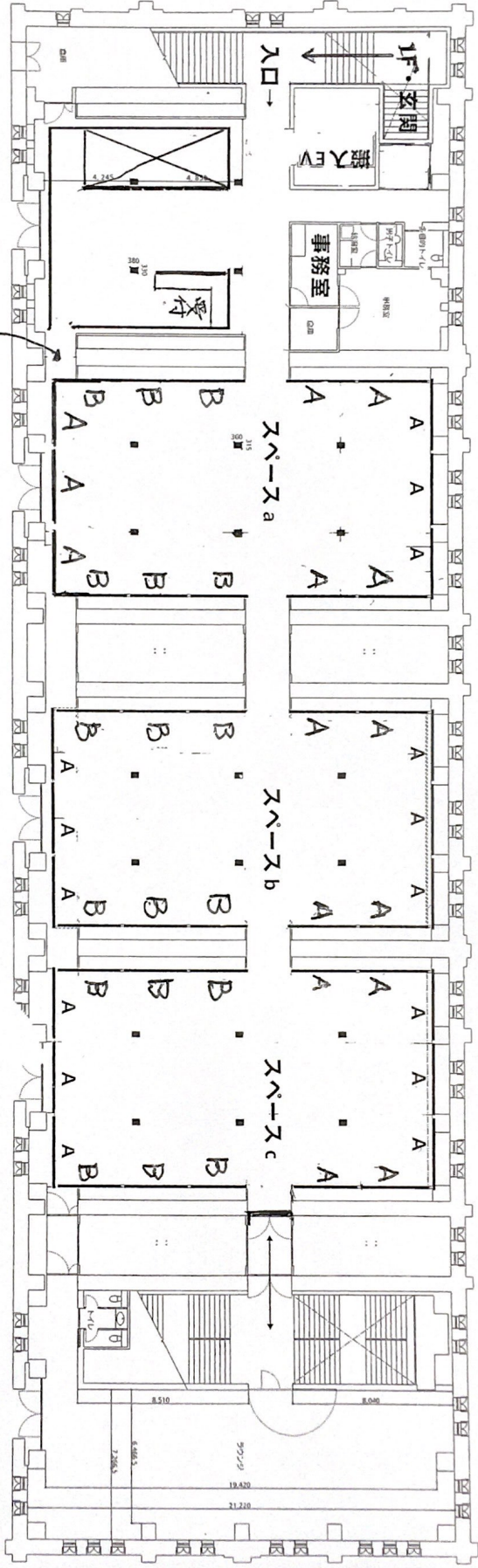
- | | | | | | |
|----|-------|----------------------------|----|--------|----|
| 1 | 井田陽世 | 湯沢 | 26 | 仲井川幸沙 | 大磯 |
| 2 | 石井抱日 | 253-0055
第4崎市中海岸2-10-13 | 27 | 中西浩暘 | 神戸 |
| 3 | 磯崎式子 | 横浜 | 28 | 橋本安希子 | 吹田 |
| 4 | 遠藤泉女 | 名務原 | 29 | 畑由紀 | 越前 |
| 5 | 大石幸徑 | 島田 | 30 | 羽鳥戴白 | 東京 |
| 6 | 小川移山 | 入間 | 31 | 濱崎道子 | 横浜 |
| 7 | 小橋紫仙 | 東京 | 32 | 原雪澄 | 長崎 |
| 8 | 喜代吉博美 | 浜田 | 33 | 平島正義 | 八戸 |
| 9 | 草津祐介 | 東京 | 34 | 平蔵 | 東京 |
| 10 | 久保田伸子 | 高崎 | 35 | 堀内肇 | 東京 |
| 11 | 青藤白瑤 | 鎌倉 | 36 | 古松瑤月 | 春日 |
| 12 | 佐伯孝子 | 神戸 | 37 | 堀廬山 | 大村 |
| 13 | 坂巻裕一 | 304-0044
常総市菅生3057-3 | 38 | 真鍋智浩 | 浜田 |
| 14 | 佐藤一墨子 | 館林 | 39 | 松本丹芳 | 平塚 |
| 15 | 柴田丹鳳 | 厚木 | 40 | 三宅華邦 | 福山 |
| 16 | 杉本敬子 | 八戸 | 41 | 山田(お)川 | 埼玉 |
| 17 | 杉山勇人 | 横浜 | 42 | 萩紅河 | 高松 |
| 18 | 鈴木邦子 | 町田 | 43 | 萩田圭瑤 | 藤沢 |
| 19 | 大柴悠雪 | 福山 | 44 | 白石翠生 | 帯広 |
| 20 | 竹澤順子 | 福井 | 45 | 八重栢冬雷 | 芽室 |
| 21 | 竹村美園 | 藤枝 | 46 | 八木梢葉 | 厚木 |
| 22 | 高橋清堂 | 厚木 | 47 | 山田翠香 | 府中 |
| 23 | 高橋柳泉 | 帯広 | 48 | 横山千恵美 | 福井 |
| 24 | 高濱浩 | 帯広 | 49 | 和田敬子 | 藤岡 |
| 25 | 谷川由川 | 姫路 | 50 | 和田好恵 | 江津 |

配置図・出品料

・このサイズ以内の作品です。
・複数可

参加費
A面 3.55m 40,000円
B面 3.19m 36,000円

■ 柱
■ 40cm角 (参考)



基本 1m10,000円とする

A面 3.55m 36,000円 + 4,000円 = 40,000円
B面 3.19m 32,000円 + 4,000円 = 36,000円
+ カタログ5冊

②天井が低い為、2x8尺以上は不可です。

③ 卷子や折帖の高さは、中央にテイクアップの表示をします。(Bにのみ)

↑
糸鋸屑上赤字に加工の様に
このようにします。

4/8

アンケートを返信して下さい

締切 11月25日(土)

Q1 お名前

Q2 使用希望壁 (3/8 参照)

壁の種類	A	B	おまかせ
希望順 数字を記入			

希望が集中したら調整します。
おまかせを選んでくれた方は尊敬します。おまかせが第1希望の方はA~Bは記入しなくても結構です。
最終的には代表にまかせていただきます。会場効果を考えて配置します。
11月30日までに決定してお知らせします。

Q3 案内状 (はがき・A4 フライヤー) は何枚欲しいですか。

はがき		枚
A4 フライヤー		枚

美術館・横浜等のギャラリー・美術系の大学、評論家、出版社…等は石井が送ります。
が、重なってもかまいませんので、各自出して下さい。アンケートは以上です。

返信先  sakama91@mac.com

メールを
しつらい人は { 郵便 253-0055 神奈川県茅ヶ崎市中海岸 2-10-13
電話・ファックス 0467-86-2615
携帯電話 080-3499-4467 }

石井抱豆

簡易化のため、アンケートをメールで返した方には、以降のメールで送れる連絡はメールで送ります。なるべくご協力下さい。
sakama91@mac.com
今回のお便り・アンケートの返信書式は
<http://www.9ch.jp/tenten> でも見れます。

出品票も同封です

11. 会期中の日程

11:00 ~ 18:00。23日は13:00 ~ 29日(月) ~ 17:00

2024年4月23日(火)

9:00 搬入・展示、赤レンガ倉庫1号館裏口集合。(ご無理不用です)

13:00 開展。

打合せ: 記念写真、有。

14:00 ~ 14:30 ギャラリートーク、石井進行・インタビュー形式 (冷日に来れない人優先)

以下、毎日同。

15:30 ~ 16:30 ワークショップ。希望者はアンケートにて、毎日開催。(28日以外)

4月、28日(日)

14:00 ~ 15:30 シンポジウム (今の書・これからの書) 後、

シンポジスト4人+進行は、未定。

※ 以前は、この後、ウェルカムパーティを行っていたが、赤レンガと交渉中。
何らかの形で、必需品同志の交流の場を持ちたい。

28日(月)

17:00 開展、搬出。

12. ワークショップ希望者は、11月25日(土)までに、

石井にTelを下さい。080-3499-4467。

宜しくお待ちしております。

13. アンケート返信について。

4/8枚目の下段に書いてある方々に、

メール返信可能な方は、できるだけご協力下さい。

耳にお願いを頂いております。

14. お詫言

この要項の作成 遅く申し訳ないこと、深くお詫言します。

私事多忙が原因です。スミマセンです。

15. 書・今・旬。

旬 = 旬宴 (古代朝廷で開かれた年中行事の一) 広辞苑。

赤レンガ倉庫という名の茶屋で美味しい旬のお茶を食します。

引いてみよう。

出品票

カタログ・目録・フライヤ・などに使います。

締切 1/30日 (土) 6/8

1. 姓名(号) _____
2. タイトル _____
3. 作品サイズ (cm) ^{たて} _____ × ^{よこ} _____
4. 使用材 _____
5. コメント (150字以内) _____

この出品票の
送り先は坂巻氏
です。

sakama91@mac.com
303-0044
常総市菅生町3057-3
坂巻 裕一

かたがけのひまわり

桜葉林大学 / 常総市菅生町 / 武蔵野大学

草津 祐介 - 1981 年生



プロフィール (2, 3, 4, 5 は記入自由)

1. 表情のある顔写真 _____
2. 生年 _____
3. 所属 _____
4. 師 _____
5. 連絡先 _____
6. 作家歴 _____

2009 文平区 2009 (東京芸術劇場 大ホール)
 2011 草津祐介展 - 次世代若手 (Shonan Art My Gallery)
 2012 横浜赤レンガ倉庫 40 - The Sky おしたを響く (横浜赤レンガ倉庫)
 2012 B.A.M.A 2012 (韓国ソウル) - The Sky おしたを響く (横浜赤レンガ倉庫)
 2013 横浜赤レンガ倉庫 2013 - Shiba it it (横浜赤レンガ倉庫)
 2013 草津祐介展 - 次世代若手 (Shonan Art My Gallery)
 2013 日中書道教育交流展 - 展覧会 (Shonan Art My Gallery)
 2015 Letter and Ink (韓国ソウル) - Gallery Philinuk
 2016 Korea-China Japan Calligraphy Exchange Exhibition Questions Regarding the City, Relationships and Tea
 (韓国ソウル) - 展覧会
 2016 TEN TEN 2016 IN 横浜赤レンガ倉庫 - 展覧会
 〒124-0011 東京都葛飾区四ツ木 4-4-12-405 M.A.L. usk932@hotmail.co.jp

★ 表装について.

- ・ 額装・裱装・軸装・屏風・卷子・立体 ... 自由です。
 の方、早目に石井に連絡して下さい。
 ・ 壁面は使わないので、出品料はBにします。
- ・ 天井から吊ることは不可になりました。
- ・ 作品の表装は、下記 岡忠表具店をおすすめします。
 ・ 自分がいつか使っている表具屋は 勿論OKですが 諸期日は
 寄して下さい。

— 246-0021 —

横浜市瀬谷区 ニッ橋町140-35
 045-362-2616 . FAX 045-362-4187
 美術表装 岡忠

- ・ 岡忠さんは、表装・写真撮り、(含、坂巻氏への送付) ^{700円}
 搬入・搬出 等 全てやってくれます。
 岡忠さん使用の際は、締切りを1月20日(土)とす。
 裏打ちして 写真を撮りますので。
 岡忠さんと連絡をとりながら進めて下さい。
- ◎ 全てを自分でやる方も、締切り日は寄して下さい。

④ 他、会場使用の際の規則が、かなり厳しくなっています。
 今後のことにもなりますので、お互い気をつけよう。

- ・ 展覧会の主催者は出品者です。同時に主役も出品者です。
- ・ 展覧会は、多くの才に見ていただく事が最も大切です。
 見内や、仲間だけでは何の意味もありません。Ten・tenはやる事
 最も意識して、外部への発信は始めて下さい。今は、正しい情報の
 時です。PCのできる方は大いに活用して下さい。フライヤー、カタログ、会場
 風景等自由に使って結構です。そして、この展覧会を通して世界に
 飛び出していって下さい。

壁面に使用できる物品



◎虫ピン

直径0.24mm～0.7mm

(設置の際は、ピンニング器もしくはトンカチが必要)



◎コマンドタブ

用途に合わせてSS, S, M, Lの4種類があります

(キャプション等に使用。落ちやすいため、要注意)



◎ひつつき虫

ちぎって貼る、練り消しのようなソフト接着剤



◎ナイスタック 弱粘着タイプ

両面テープ

(ピンを使わず貼り直しができます)



◎ガンタッカー

直径0.6mm以下

(直径の太いものは使用不可)



◎針が細い画鋲(無印良品)

針径0.5×6mm

柱に使用できる物品

◎マグネット

(各柱の4角のみ使用できます。)

◎コマンドタブ